

2026年8月6日
株式会社新出光
株式会社漁連石油

新出光創業100周年を記念した新造船「第百山陽丸」が進水 船舶バンカー供給・離島燃料輸送で地域社会のエネルギーインフラに貢献

株式会社新出光（本社：福岡市、代表取締役社長兼グループCEO：出光 泰典）と、グループ会社の株式会社漁連石油（本社：山口県下関市、代表取締役社長：足立 一仁）は、太陽造船株式会社（本社：山口県山陽小野田市、代表取締役：村上 眞知子）にて建造中の燃料給油船の進水式を、2026年8月4日（火）に執り行いました。

式典において本船は、新出光の創業100周年を記念し「第百山陽丸」と命名されました。本船は、2026年8月末頃に太陽造船から引き渡しを受けた後、株式会社漁連石油の運航のもと、博多港を拠点とした船舶へのバンカーや離島への燃料輸送に従事し、地域社会のエネルギーインフラを支える重要な役割を果たしてまいります。



「第百山陽丸」について

「第百山陽丸」は、これまで地域の燃料輸送を担ってきた船舶の老朽化に伴い、安全かつ持続可能な供給体制を維持するために建造された新造船です。今回の進水が新出光の創業100周年の節目と重なったことから、その歴史と感謝を込めて「第百山陽丸」と命名されました。本船は今後、博多港を中心とした近海での船舶向け燃料（バンカー）給油をはじめ、生活基盤として燃料を必要とする離島エリアへの安定輸送を担い、地域の産業と暮らしを支えてまいります。

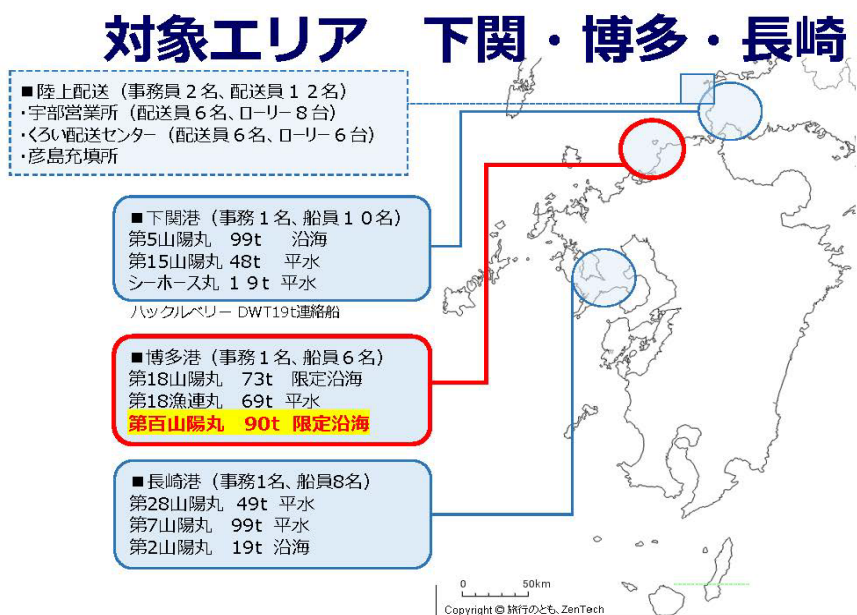
船名	第百山陽丸
総トン数	約90トン
重量トン数	200トン
全長	29m29
垂直間	27m
幅（型）	6m80
深さ（型）	3m10
速力	満載航海状態 10ノット
用途	給油船
タンク容量	A 重油：180kL、軽油：80kL
荷主	株式会社新出光
運行者	株式会社漁連石油



2026年8月6日
株式会社新出光
株式会社漁連石油

九州北部エリアのエネルギーインフラを支える体制

株式会社漁連石油では、下関・博多・長崎の主要港を拠点に、各地域の海上・離島への燃料供給ネットワークを構築しています。博多港拠点においては、これまで運用してきた2隻に加え、今回進水した最大トン数となる「第百山陽丸（約90トン）」が新たに就航（※2026年8月末頃引き渡し予定）することで、近海でのバンカー供給能力および離島への輸送効率が向上します。



株式会社漁連石油について

1953年の設立以来、関門エリアを中心に船舶への海上燃料の安定供給し、地域経済を支えてまいりました。2015年3月よりイデックスグループの一員となり、現在は海上3部門（下関・福岡・長崎）と陸上2部門（宇部営業所・くろい配送センター）を拠点に、地域の経済と暮らしを支える事業を展開しています。創業時からの基本方針である「人命の保全」「環境保護」「安全管理」を徹底し、地域の皆様に寄り添う企業活動を推進してまいります。

■会社概要

会社名 株式会社漁連石油
代表者 代表取締役社長 足立 一仁
所在地 〒750-0067 山口県下関市大和町1丁目16-1
事業内容 海上石油販売（燃料油、潤滑油） 内航運送業
会社HP <https://gyoren.idex.co.jp/>

当リリースに関するお問合せ先

株式会社新出光 産業エネルギー課 樋渡・藤井 電話：092-271-7941
株式会社新出光 広報担当 久良木・笠茂 電話：092-291-4134

イデックスグループの
キャンペーン情報はこちら

